

10-1 松本城クイズ37 小里頼永について (解答・解説)

松本城管理事務所研究室

1. 次の文は、小里頼永の経歴について述べてある。この中で間違っていて述べてあるものはどれか、一つ選びなさい。.....④

- ・明治17年 (1884) 東筑摩郡会議員となる。
- ・明治21年 (1888) 長野県会議員となる。
- ・明治23年 (1890) **衆議院議員**となる。
- ・明治31年 (1898) 北海道支庁長 (在任3ヶ月) となる。

2. 小里頼永の住まいは、どこの町にあったのか、次の中から一つ選びなさい。.....②

○明治5年「松本侍町絵図」(写)より



間口 11間3尺 (約20, 7m)
 奥行 25間 (約45m)
田町通り
 面積 276坪1合 (約910, 8 m²)
 小里 頼永家



3. 小里頼永は、明治35年7月より松本町長となり、その後市制施行とともに市長として連続し、長きにわたって市発展のために尽くした。町長から市長まで連続何年間務めたか、次の中から一つ選ばない。.....①

明治35年(1902)7月松本町長になる。明治40年(1907)年7月より市制施行となり、初代松本市長となる。昭和12年(1937)8月辞任する。町長から市長まで**連続35年間**となる。

4. 松本市の首長になってからは、「松本に県庁を」を信念に持ち、市の発展を念頭におき、陣頭指揮のもとで多くの人々に支えられながら力を尽くした。小里頼永の政治生活のバックボーンのひとつとなったのは、次のうちどれか、一つ選びなさい。.....③

小里頼永の政治生活は明治初年の**分県問題・移庁論**で始まり、県会議員や町長・市長の活動の中で、**県庁移庁論**が生きっていて、中南進7郡の市町村長と出身県会議員らと移庁期成同盟会が結成され、その陣頭指揮を執った。かれの**政治的バックボーン**となって**市長時における諸活動の礎**となっているといっても過言ではない。

5. 明治38年(1905)3月、仙台での五十連隊の編製の動きがあり、松本町は積極的に誘致に動き出した。小里頼永は、松本藩士出身の幹部に陳情等をした。その結果、明治40年1月歩兵五十連隊兵営が松本に確定し、翌41年11月3日に入営した。さて、松本藩士出身の幹部とは誰か、次の中から一人選びなさい。.....④



明治38年3月(1905)、仙台での五十連隊の編成の動きがあり、松本町は積極的に誘致に動き出した。町長小里頼永は、**松本藩士出身福島安正らの幹部に陳情**、その結果、40年1月、歩兵第五十連隊兵営が確定し、入営したのは翌41年11月3日でした。

6. 大正3年(1914)7月1日、松本市本町(現在の中央郵便局)に日本銀行松本支店が開設された。小里頼永は、積極的に誘致の運動の中心となって尽力した。松本のほかに県内でも誘致運動をしたのはどこか、次の中から一つ選びなさい。.....③



当時の日本の産業の中心である製糸業の最も発展していた長野県にも支店を設置することが計画されていた。設置場所をめぐって、長野と松本が候補地に挙げられた。松本に設置が決まったのは、有力な銀行の支店が多く集まっていたこと。その上製糸業の繁盛、資金供給の多額であることによって松本に決定した。誘致のリーダー小里頼永の政治力によること大である。

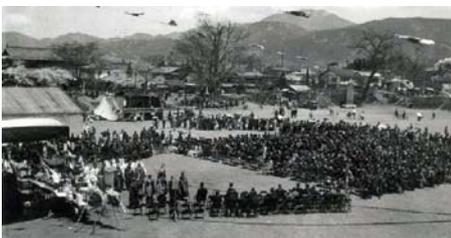
7. 大正4年(1915)高等学校四校建設の政府案が決まり、その誘致をめぐって長野県・新潟県の運動が激しくなった。また、県内では松本・長野・上田の委員が上京して誘致運動を展開した。この状況を見て松本市長小里頼永も上京して、松本藩士出身の文部省関係の人物らと協力して誘致運動を進めた。その結果大正6年(1917)11月、長野・松本の実地見分があり、後松本設置の内示があった。松本藩士出身で誘致運動に協力した人物を、次の中から2人選びなさい。.....①と④

32年、第七高等学校設置の際、東京在住の辻新次(松本藩士辻大淵介如水の二男。文部省次官など25年間在職し、文部省の生き字引と言われた。大学南校校長)、伊沢修二、澤柳政太郎(松本藩士澤柳信任の長男。天白町に生まれる。東京大学を卒業。文部試補、書記官、中学校長、高等学校長、文部次官など歴任、私立小中学校創設)らが誘致運動を展開し、その実現に努力した。

8. 松本市は伝統の「一市一校制」をかたくなに守り続けた。「松本尋常高等小学校」一校しかなく、これが開智・田町・源池・旭町・田川・鎌田・清水に分れ、八校ありながら校長は一人であった。一校制の批判もあり、昭和10年4月1日より多校制になった。何年間一校制が続けられたか、次の中から一つ選びなさい。.....②

明治25年(1892)年4月1日、松本尋常小学校は高等科を設置して松本尋常高等小学校と改称した。この松本尋常高等小学校が多校制になったのは、昭和10年4月1日である。これによって、177学級、10228人という日本一の超マンモス校は、43年間にわたる一校制は幕を閉じた。

9. 松本市は、10年間ごとに市制〇〇周年記念式典を開いている。10周年記念式典は大正6年(1917)に城山で、20周年記念式典は昭和2年(1927)に松本市営病院の開院祝賀式をあわせて城山で盛大に開いた。30周年記念式典は昭和11年(1936)に開催された。この式典はどこで開いたか、次の中から一つ選びなさい。.....①



昭和11年(1936)5月1日、松本城本丸広場を会場にして市制30周年記念式典が盛大に行われた。この年4月には松本城は国宝に指定された。



10. 小里頼永は、明治35年から(1902)松本町長を務め、明治40年市制に移行してからも引き続いて市長を務めた。市制発展の礎(いしづえ)を多くの人たちとともに築いた。そのため松本城本丸庭園に、その功績を讃(たた)えた像ができ、多くの市民の参加のもと昭和8年(1933)5月1日に除幕式が開催された。存命中にこのように造っておく人の像のことを何と呼ぶか、次の中から一つ選びなさい。.....③

存命中に造っておく人の像のことを寿像(じゅぞう)という。